



石海小学校だより

校訓 「あかるく なかよく 力いっぱい」

太子町立石海小学校
NO.1 令和3年4月16日
発行者：校長 久保田 昌之

ご入学・ご進級おめでとうございます

出会いの春の訪れです。本年度、石海小学校には、71名の児童が入学し、全校児童475名、20学級で令和3年度がスタートしました。



ピカピカの1年生

始業式の講話の中で、人を笑顔にする「思いやり算」の話をしました。「+」は、一人一人の力は小さいものでも、助け合うことで大きな力を発揮することができます。「-」は、困っている人のちよとした仕事を

引き受けてあげ	おもいやり算	-人を笑顔にする算数-
ることで、喜びを	たす(+)	…たすけあうと大きな力に
感じる事ができ	ひく(-)	…ひきうけると、喜びが生まれる
ます。「×」は、挨拶	かける(×)	…声をかけると、ひとつになれる
や優しい言葉	わる(÷)	…いたわると、笑顔が返ってくる

AC JAPAN より

をかけることによって、お互いの心がひとつになれます。「÷」は、いたわりの心で接すれば、相手の心が和み、笑顔が返ってきます。

「思いやり算」は、コロナ禍の中で、人間関係が希薄になりがちな今こそ、子どもたちだけでなく、私たち大人も大切にしなければならぬと感じています。

なお、新型コロナウイルス感染症については、予断を許さない状況ですが、児童の学びを保障していかなければなりません。「笑顔あふれる石海小学校」をめざし、感染症対策をとりながら、創意工夫した教育活動を行ってまいりますので、保護者・地域の皆様の温かいご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

リーダーとしての自覚

新学期が始まり、6年生は、登下校や1年生のお世話、委員会活動等、学校生活のいろんな場面でリーダーとして活躍してくれています。これは、最高学年としての責任を自覚して行動できているからだと思えます。1年間、石海小学校の機関車となって、全校児童を良きお手本として導いてくれることを期待しています。



給食のお世話をする6年生

【令和3年度学校経営方針の概要】

- 校訓
「あかるくなかよく力いっぱい」
- 教育目標
 - ・人権尊重の精神を基盤として「知・徳・体」の調和のとれた児童の育成
 - ・心豊かで自立して、夢や志の実現に努力する児童の育成
- めざす学校像
 - 子どもたちにとって 「学びたい学校」
 - 教職員にとって 「働きたい学校」
 - 保護者・地域にとって 「応援したい学校」
- 具体的努力事項
 - (1) 新型コロナウイルス感染症を踏まえた対応…感染症対策・学びの保障(ICT活用・工夫した活動)・心のケア・差別防止
 - (2) 「確かな学力」の育成…深い学び・外国語・プログラミング
 - (3) 「豊かな心」の育成…道徳性・人権教育・ふるさと意識
 - (4) 「健やかな体」の育成…体力・運動能力の向上・アレルギー
 - (5) 特別支援教育の充実…多様な学び・支援体制の構築
 - (6) 兵庫型「キャリア教育」の推進…社会にふれる機会
 - (7) 教職員の資質・能力の向上…使命感・専門的知識・指導力
 - (8) 学校の組織力の強化…協働体制・家庭、地域、校種間連携



チーム石海

お知らせ~留守電&緊急メール

4月1日より太子町内の小中学校すべてに留守番電話が設置されました。18時30分以降は、留守番電話対応となりますので、ご了承ください。

学校から緊急連絡が必要な場合、保護者の皆様にメールでお知らせしますので、「石海小連絡メール」に登録してください。また、警報等の災害情報が届く「たいし安全安心ネット」にもご登録ください。



***** 教室の窓 *****

一人の児童が、拾ったお金を学校に届けてくれたので、交番に連絡をしました。3カ月後に落とし主が見つからなかった場合、拾った人に所有する権利が発生します。児童に説明すると、「そのお金を寄付することはできますか?」と真っすぐな瞳で尋ねてきました。「どんなことに使ってほしいの?」と聞くと、「コロナのために苦しんでいる人や頑張っている人のために使ってほしい。」とはっきりと答えました。わずかな金額ではありますが、少しでも誰かのために…との純粋な気持ちに胸が熱くなります。コロナの収束を願いつつ、純粋な目、純粋な心で社会を見ている子どもたちの感性も大切にしていきたいです。

(文責：教頭 三宅 優一)